

一般財団法人日本国際政治学会 2024 年度研究大会 分科会プログラム

※以下のプログラムは暫定版（7月末時点）です。

◆11月15日（金）

分科会セッション A（15:45～17:45）

（※A-1は15:45～17:15に実施）

A-1 日本外交史 I / 東アジア国際政治史合同分科会

責任者 吉田 真吾（近畿大学）
福田 円（法政大学）

テーマ 近現代中国における治外法権とその撤廃

司会 川島 真（東京大学）

報告 塚本 英樹

「中国分割と日本人の大陸進出——租借地における領事裁判権問題」

景 旻（東京大学）

「中華人民共和国成立前後の外国人『特権』の変化——地方公文書に基づく再考察」

討論 川島 真（東京大学）

奈良岡 聰智（京都大学）

A-2 政策決定分科会 I

責任者 三浦 秀之（杏林大学）

テーマ 経済安全保障と伝統的安全保障の相克

司会 三浦 秀之（杏林大学）

報告 杉之原 真子（フェリス学院大学）

「日本の対内直接投資規制についての政治学的分析」

井戸本 雄児（南カリフォルニア大学）

“China’s Peaceful Rise, After All? The Threat of Rising Powers Reconsidered”

大崎 祐馬（同志社大学）

「国際規範化する『経済安全保障』概念における制度化と履行」

討論 齊藤 孝祐（上智大学）

三浦 秀之（杏林大学）

A-3 国際交流分科会

責任者 井上 浩子（大東文化大学）

テーマ 自由論題

司会 井上 浩子（大東文化大学）

報告 堀内 めぐみ（元桜美林大学）

「『文化国家』を問い直す——『文化』を創るとは何を意味するのか」

久永 優吾（上智大学）

「非民主主義国家の『司法外交』——トルコ憲法裁判所を事例として」

崔 仁赫（一橋大学）

「日本の国会議員の外国に関する発言感情に与える要因分析——政治テキストを対象とした実証分析」

討論 川村 陶子（成蹊大学）

浜中 新吾（龍谷大学）

A-4 院生・若手研究分科会 I

責任者 富田 健司（九州大学）

テーマ 冷戦期における国際関係の変容——二国間関係と野党の目線から

司会 竹野 貴子（南山大学）

報告 西村 巧（関西大学）

「冷戦期米ソにおける信頼醸成措置の再考——レーガン政権を事例として」

成 炫旻（一橋大学）

「戦後日本における『自主防衛』論——70年安保に向けた民社党の防衛構想を中心に」

本藤 優典（京都大学）

「1970年代における日本の対オーストラリア資源外交」

討論 村田 晃嗣（同志社大学）

若月 秀和（北海学園大学）

永野 隆行（獨協大学）

◆11月16日(土)

分科会セッションB(12:45~14:00)

B-1 日本外交史分科会Ⅱ

責任者 吉田 真吾(近畿大学)

テーマ 近代日本の会議外交と外務省

司会 吉田 真吾(近畿大学)

報告 阿曾沼 春菜(広島修道大学)

「第二回ハーグ万国平和会議(1907)と日本外交」

種稲 秀司(國學院大學)

「戦前期日本外務省における在外幹部のキャリアパス——基本パターンとその運用に関する考察」

討論 佐々木 雄一(明治学院大学)

B-2 東アジア国際政治史分科会

責任者 福田 円(法政大学)

テーマ 現代中国外交と統一戦線工作

司会 三宅 康之(関西学院大学)

報告 邵 天澤(京都大学)

「第二中間地帯論の成果と蹉跌——中国の対イタリアと対西ドイツ外交 1964」

丁 天聖(東京大学)

「中国『愛国統一戦線』の形成と対台湾政策」

討論 三宅 康之(関西学院大学)

杉浦 康之(防衛省防衛研究所)

B-3 東アジア/東南アジア合同分科会

責任者 土屋 貴裕(京都先端科学大学)

井原 伸浩(名古屋大学)

テーマ 自由論題

司会 井原 伸浩(名古屋大学)

報告 阿部 和美(二松学舎大学)

「ジョコ・ウィドド政権下のパプア地域」

永田 伸吾(金沢大学)

「北東アジアにおける大国間競争の展開——現状変更国による『探り(probing)』の常態化への日本の対応を中心に」

討論 首藤 もと子 (筑波大学)
土屋 貴裕 (京都先端科学大学)

B-4 アフリカ分科会

責任者 荒木 圭子 (東海大学)

テーマ アフリカ外交の諸相

司会 荒木 圭子 (東海大学)

報告 佐藤 裕視 (麗澤大学)

「タンガニーカ・アフリカ民族同盟 (TANU) による初期外交と国連——政治組織収斂のメカニズム」

細井 友裕 (東京大学)・*高橋 知子 (京都大学) (*非登壇共著者)

「アフリカのサミット外交——日本と中国の経験を整理する」

討論 井上 実佳 (東洋学園大学)
武内 進一 (東京外国語大学)

B-5 安全保障分科会 I

責任者 栗田 真広 (防衛研究所)

テーマ 核をめぐる日本の言説

司会 栗田 真広 (防衛研究所)

報告 梅原 季哉 (広島市立大学)

「核使用に関する日本における規範受容——言説分析を軸として」

王 凱標 (広島大学)

「脅威認識から見る核秩序の変遷——日本の非核政策と核不拡散体制」

討論 向 和歌奈 (亜細亜大学)

B-6 国連研究分科会

責任者 藤重 博美 (青山学院大学)

テーマ 自由論題

司会 山本 慎一 (香川大学)

報告 篠田 英朗 (東京外国語大学)

「国際社会の構造転換と岐路に立たされた国連——縮小する PKO と財政難の援助活動」

武藤 亜子 (JICA 緒方研究所)

「人間の安全保障とグローバル・ヘルス——コロナ後の国連の役割を中心に」

討論 山本 慎一 (香川大学)

詫摩 佳代（慶應義塾大学）

B-7 平和研究分科会 I

責任者 古澤 嘉朗（広島市立大学）

テーマ 和平合意と反政府勢力による人道侵害

司会 古澤 嘉朗（広島市立大学）

報告 田中 聡（立命館大学）

「権力分有による平和維持とクライエントリズム—— Dayton 合意後のボスニアを事例に」

楊 允晶（早稲田大学）

“Partner in Crime? Examining Rebel Groups’ Humanitarian Violations and Alliance”

討論 杉浦 功一（文教大学）

杉木 明子（慶應義塾大学）

分科会セッション C（14:15～15:30）

C-1 日本外交史分科会 III

責任者 吉田 真吾（近畿大学）

テーマ 再考 戦後日華・日韓関係

司会 中島 琢磨（九州大学）

報告 横山 雄大（東京大学）

「1950年代後半における日本社会党と中華民国の接近」

関 智焄（立命館大学）

「日本の戦後民主主義における日韓国交正常化——「構成主義」の概念からのアプローチ」

討論 添谷 芳秀（慶應義塾大学）

C-2 アメリカ政治外交分科会 I

責任者 島村 直幸（杏林大学）

テーマ <合評会> 青野利彦『冷戦史（上下）』（中公新書、2023年）

司会 水本 義彦（獨協大学）

報告 著者：青野 利彦（一橋大学）

討論 評者：佐々木 卓也（立教大学）

評者：高橋 和宏（法政大学）

C-3 ロシア・東欧分科会 I

責任者 加藤 美保子 (広島市立大学)

テーマ 戦時下の動員と愛国教育

司会 浜 由樹子 (静岡県立大学)

報告 西山 美久 (東京大学)

「ロシア・ウクライナ戦争下におけるプーチン政権の愛国教育」

岡田 美保 (防衛大学校)

「戦争の長期化と兵員補充の諸問題」

討論 立石 洋子 (同志社大学)

油本 真理 (法政大学)

C-4 ラテンアメリカ分科会

責任者 浦部 浩之 (獨協大学)

テーマ カリブに働く地域間関係のダイナミズム

司会 馬場 香織 (北海道大学)

報告 岸川 毅 (上智大学)

「中台米の外交競争とドミニカ共和国の選択」

森口 舞 (名城大学)

「ジャマイカのブラック・パワー運動における汎アフリカ主義の受容」

討論 片岡 真輝 (東京外国語大学)

松本 八重子 (亜細亜大学・上智大学)

C-5 安全保障分科会 II

責任者 栗田 真広 (防衛研究所)

テーマ 軍備管理・軍縮・不拡散の諸相

司会 福田 毅 (国立国会図書館)

報告 一政 祐行 (防衛研究所)

「2国間軍備管理条約の「生と死」——軍備管理条約の終焉から新たな軍備管理への架橋を巡る一考察」

田中 極子 (東洋英和女学院大学)

「バイオテクノロジーの安全保障上の位置づけ」

討論 福田 毅 (国立国会図書館)

有江 浩一 (防衛研究所)

C-6 政策決定分科会Ⅱ

責任者 三浦 秀之 (杏林大学)

テーマ 国際政治と国内政治の連繋

司会 細谷 雄一 (慶應義塾大学)

報告 Emily S. Chen (東京大学)

“Beliefs, Identities and Pragmatism: Why Japanese Policymakers Are Selling Liberal Democracy in the 21st Century”

Shin Do Hyung (京都大学)

「日本と韓国の労働移民政策における国内政治アクターの連合体の役割」

討論 細谷 雄一 (慶應義塾大学)

手塚 沙織 (南山大学)

C-7 ジェンダー分科会

責任者 大野 聖良 (お茶の水女子大学)

テーマ フェミニズム／ジェンダー理論から捉える国際政治の現在

司会 大野 聖良 (お茶の水女子大学)

報告 本山 央子 (お茶の水女子大学)

「帝国主義とフェミニズムの新しい関係？価値の外交とジェンダー主流化」

土野 瑞穂 (明星大学)

「ジェンダーの視点からみた近年の紛争の様相——CRSV、CBOW、女性兵士の存在から」

討論 和田 賢治 (武蔵野学院大学)

◆11月17日(日)

分科会セッションD (9:30～11:00)

D-1 欧州国際政治史・欧州研究分科会Ⅰ

責任者 鳥潟 優子 (同志社女子大学)

テーマ ヨーロッパ国際政治におけるイニシアティブ掌握の試み？

司会 小川 浩之 (東京大学)

報告 佐竹 壮一郎 (白鷗大学)

「デモクラシーウォッシング？——EUにおける政治参加促進をめぐる」

狐塚 祐矢 (東京大学)

「デタント期におけるドイツ社会民主党の『欧州戦略』——欧州左派をめぐる政党

外交に着目して」

討論 細井 優子（拓殖大学）
葛谷 彩（明治学院大学）

D-2 ロシア・東欧分科会Ⅱ

責任者 加藤 美保子（広島市立大学）

テーマ アジアのロシア、ヨーロッパのロシア

司会 加藤 美保子（広島市立大学）

報告 左近 幸村（九州大学）

「ウラジオストクの『自由港』は必然か——歴史的比較の試み」

長島 徹（外務省）

「対ウクライナ戦争におけるロシアの国籍政策の変容」

討論 堀内 賢志（静岡県立大学）

松崎 英也（津田塾大学）

D-3 国際統合分科会

責任者 東野 篤子（筑波大学）

テーマ EUにおける中・東欧諸国およびトルコ

司会 東野 篤子（筑波大学）

報告 仙石 学（北海道大学）

「欧州議会選挙と東欧政治——ヴィシエグラード諸国を中心に」

今井 宏平（アジア経済研究所）

「『永続的』加盟交渉国トルコにおける国民のEUに対する期待と不満——2023年実施の世論調査の結果から」

討論 石川 雄介（地経学研究所）

中井 遼（東京大学）

D-4 国際政治経済Ⅰ／トランスナショナル合同分科会

責任者 三浦 聡（名古屋大学）

細田 晴子（日本大学）

テーマ グローバル・ガバナンスの自省作用による民主的変革

司会 半澤 朝彦（明治学院大学）

報告 西谷 真規子（神戸大学）

「自省的なグローバル・ガバナンスの有効性と正統性」

赤星 聖 (神戸大学)

“Transforming humanitarian governance from below? From the perspective of reflexive governance”

西村 もも子 (東京女子大学)

「知的財産権の保護をめぐるグローバル・ガバナンス」

討論 勝間田 弘 (東北大学)

高橋 若菜 (宇都宮大学)

D-5 環境分科会

責任者 中山 賢司 (創価大学)

テーマ 気候変動課題の新たなフロンティア——安全保障戦略とサステナブル投資

司会 渡邊 理絵 (青山学院大学)

報告 小尾 美千代 (南山大学)

「アメリカ国防総省による脱炭素化の取り組みと安全保障戦略としての気候変動対策」

御代田 有希 (東京大学)

「低炭素経済への移行におけるサステナブル投資の進展と影響」

討論 太田 宏 (早稲田大学)

蓮井 誠一郎 (茨城大学)

D-6 院生・若手研究分科会Ⅱ

責任者 富田 健司 (九州大学)

テーマ 現代の国際関係における経済戦略と安全保障——貿易、技術、資源を巡る国家戦略

司会 鈴木 一人 (東京大学)

報告 周 放 (早稲田大学)

「危機下の自由主義的国際秩序の進化——日米貿易摩擦と米中貿易戦争の比較分析」

佐久間 大介 (東海大学)

「戦略物資がもたらす国家間関係への影響力——半導体の事例を中心に」

劉 雅静 (慶應義塾大学)

「中東地域情勢に基づく日本のエネルギー安全保障政策の変容——資源外交を中心に」

討論 松村 博行 (岡山理科大学)

鈴木 一人 (東京大学)

小林 周 (日本エネルギー経済研究所)

◆11月17日(日)

分科会セッション E (11:15~12:55)

E-1 欧州国際政治史・欧州研究Ⅱ／日本外交史Ⅳ合同分科会

責任者 鳥潟 優子 (同志社女子大学)

吉田 真吾 (近畿大学)

テーマ 1970年代の日米欧三極国際秩序の模索と日欧関係

司会 黒田 友哉 (専修大学)

報告 鈴木 宏尚 (静岡大学)

「G5の誕生と日本の通貨外交、1971-1973——日米欧三極国際秩序の観点から」

武田 悠 (広島市立大学)

「カナダのウラン禁輸と日米欧関係、1976-1978」

能勢 和宏 (立命館大学)

「GATT 東京ラウンドにおける日 EC 関係、1973-1979——欧州委員会の対日認識を
てがかりに」

討論 楠 綾子 (日本国際文化研究センター)

山口 育人 (奈良大学)

E-2 アメリカ政治外交分科会Ⅱ

責任者 島村 直幸 (杏林大学)

テーマ 対外政策決定の理論と現実

司会 佐藤 丙午 (拓殖大学)

報告 溜 和敏 (中京大学)

「なぜアメリカはインドに譲歩したのか——印米原子力協力協定 (2008年) 交渉の
検討」

Chrystopher S. Kim (一橋大学)

“Liberty Beyond Borders: Mobilization Factor in Great Power Military Interventions”

討論 溝口 聡 (関西外国語大学)

草野 大希 (埼玉大学)

E-3 中東分科会

責任者 千葉 悠志 (京都産業大学)

テーマ ガザ戦争をめぐる国際仲介交渉

司会 岩坂 将充 (北海学園大学)

- 報告 山本 健介（静岡県立大学）
「ガザ戦争はなぜ長期化したのか——イスラエルとハマースの停戦交渉をめぐる政治」
- 堀抜 功二（日本エネルギー経済研究所）
「ガザ戦争におけるカタルの仲介外交——『非中立的』仲介の分析」
- 横田 貴之（明治大学）
「ガザ戦争におけるエジプトの仲介外交とその内政的要因」
- 討論 前嶋 和弘（上智大学）

E-4 理論と方法分科会

責任者 久保田 徳仁（防衛大学校）

- テーマ 国際関係の理論と検証
- 司会 久保田 徳仁（防衛大学校）
- 報告 小浜 祥子（北海道大学）
「外遊の効果に関する実験的検証——内政と外交は両立できるか」
- 柴田 佳祐（広島大学）
「同盟の分断戦略理論の再検討——『探り』を導入した理論の構築と検証」
- 渡邊 涼一（筑波大学）
「ブザン流英国学派の功罪——一次的制度概念と制度論的英国学派の批判的検討」
- 討論 篠本 創（早稲田大学）
石川 卓（防衛大学校）
大中 真（桜美林大学）

E-5 国際政治経済分科会 II

責任者 三浦 聡（名古屋大学）

- テーマ 山本吉宣『言説の国際政治学——理論、歴史と「心の地政学」』をめぐる（ラウンドテーブル方式）
- 司会 佐橋 亮（東京大学）
- 報告 足立 研幾（立命館大学）
「国際政治理論の観点から」
- 江藤 名保子（学習院大学）
「中国外交論の観点から」
- 金子 将史（政策シンクタンク PHP 総研）
「政策論の観点から」

川名 晋史 (東京工業大学)

「日本外交論の観点から」

E-6 平和研究分科会Ⅱ

責任者 古澤 嘉朗 (広島市立大学)

テーマ 東南アジアの紛争解決における伝統的制度と近代的制度の折衷と適応

司会 二村 まどか (法政大学)

報告 上杉 勇司 (早稲田大学)

「平和構築のハイブリッド論における『伝統』と『慣習』の再評価」

宮澤 尚里 (早稲田大学)

「資源管理における伝統的組織と制度の役割——インドネシア・バリ州の事例から」

堀江 正伸 (青山学院大学)

「国境を跨ぐ社会における慣習法の平和構築への適用について——西・東ティモール国境付近に住む人々を事例に」

香川 めぐみ (早稲田大学)

“Gradational Hybridity in Dispute Resolution: A Case Study of Customary, Islamic and Modern Mechanisms in the Bangsamoro, the Philippines”

討論 二村 まどか (法政大学)

クロス 京子 (京都産業大学)